

一般社団法人 日本臨床栄養代謝学会
2021年度第2回臨時理事会議事録要旨

日 時：2021年1月25日（月）18：00～20：30

場 所：滋賀医科大学 栄養治療部 教授室（WEB 会議システム「ZOOM」使用）

オンライン：副理事長・理事長代行：佐々木雅也

特任顧問：平田公一

理 事：飯島正平、石井良昌、犬飼道雄、遠藤陽子、小山 諭、斎藤恵子、篠 聡子、
鈴木 裕、高増哲也、中瀬 一、鍋谷圭宏、福島亮治、二村昭彦、丸山道生、
三原千恵、室井延之、山中英治、吉田貞夫、鷺澤尚宏

監 事：田妻 進、寺本房子、土岐 彰、比企直樹

事務局幹事：伊藤彰博

顧問弁護士：大前由子、塚本 聡、實延 俊宏

記 録：瀧田実隆（事務局）

欠 席 者：特任顧問：平井敏弘

理 事：小谷穰治、野上哲史、祖父江和哉

（敬称略：五十音順）

議 題：

I. 副理事長・理事長代行挨拶

はじめに今回の第2回臨時理事会は前回の第1回臨時理事会に引き続き、佐々木副理事長・理事長代行が議長となり審議に入ることが承認された。議長は、本日の理事会は出席者が自身の画像を映し出すことを前提としてWEB 会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同様に意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。続けて、定款第5章第28条に則り、2021年度第2回臨時理事会を開催することが宣言され、定款第5章第30条に則り、議長は副理事長・理事長代行が務め、議事録署名は定款第33条に則り、副理事長・理事長代行と田妻 進、寺本房子、土岐 彰、比企直樹 各監事となることが確認された。

II. 2021年第1回臨時理事会議事録の確認について

前回の臨時理事会議事録の確認がなされ、承認された。

III. 第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会の7月延期に伴う諸問題と対策について

COVID-19 拡大と今回の11都道府県下の緊急事態宣言を受けて、第36回学術集会会期を2021年7月21日～22日に延期した。第8回定時社員総会も2月17日の開催を取りやめ、2月28日の下記の単独開催へと開催日程を変更した。続けて、鍋谷会長より会期変更に伴うお詫びと日程変更承認協力に対し、役員各位に謝辞が述べられた。

IV. 第8回定時社員総会の開催日程について

佐々木副理事長・理事長代行より、第8回定時社員総会は、緊急事態宣言対象地域でない地域で交通の便を考慮した候補地を優先として、下記日程で会場を確保したことが報告され、単独開催について承認がされた。また、議決権は当日会場に出席された代議員と提出された委任状で行うものとし、視聴についてはYouTube のライブ配信形式で会議を視聴配信することで準備を進めて

いることが報告され、開催方式についても承認がされた。

■第8回定時社員総会の開催日程

日 程：2021年2月28日（日）13：00～15：30

会 場：ホテルポストプラザ草津 びわ湖 ケネディルーム

開催形式：会場およびWEB視聴配信

V. 2021年度総会・学術評議員会の開催日程について

第36回学術集会の7月延期に伴い、2021年度総会・学術評議員会も7月22日に延期とし、開催方法については当初予定のハイブリッド開催形式で参加ログを確認する形で進めることが承認された。また、表彰式典も2月の開催時と同様に執り行うことで準備することになった。

VI. 理事長選挙、理事選挙の実施について

理事選挙書類を代議員255名に対して、2021年1月18日に発送した。投票期日は2月5日の消印有効となる。開票作業については、定時社員総会当日に行うのではなく、2月10日に選挙管理委員会を開催し、学会事務局会議室で事前開票作業を行うことが承認された。理事選挙開票後の理事長予定者の選出については、定時社員総会当日に行うという第1回臨時理事会で決定した方法を変更し、事前に郵送投票を行った上で、在京の監事である土岐監事の立ち会いのもとで事前開票を行うことが承認された。また、選出された理事長予定者より新副理事長1名および推薦理事3名の指名を行い、第8回定時社員総会へ提出するとの一連の役員改選手続きについての確認がなされ承認された。監事については、第1回定例理事会にて推薦する候補者を決定することが承認された。

VII. 第37回日本臨床栄養代謝学会学術集会の会期について

第37回学術集会飯島会長より、第37回学術集会の会期について、2月開催のリスクと第36回学術集会の7月延期に伴う時間的余裕の確保も考慮して、パシフィコ横浜での会期変更に伴うキャンセル費も発生しないことを確認し、開催会期日程の変更を進めていることが報告された。また、従来通り、NST 専門療法士受験必須セミナーとNST 専門療法士更新必須セミナーを同時開催する方針である旨が報告され、以下の概要方針で進めることが承認された。

■第37回日本臨床栄養代謝学会 学術集会

日 程：2022年5月31日（火）～6月1日（水）※設営日：2022年5月30日（月）

会 場：パシフィコ横浜（ノース全館＋アネックス F201～F206）

開催形式：ハイブリッド開催

演題募集：2021年9月下旬～2021年11月下旬

事前参加登録：2022年4月1日（金）開始で検討中。

■NST 専門療法士受験必須セミナー、NST 専門療法士更新必須セミナー

日 程：2022年5月31日（火）～6月2日（木）（6月2日（木）はノース1Fのみ）

会 場：（案1）パシフィコ横浜ノース1F（G7+8）スクール670席

（案2）近隣施設にて検討。スクール500席を想定している。

開催形式：集合型開催

- VIII. 日本栄養療法推進協議会（JCNT）後任理事および監事の推薦について
大柳治正 JCNT 理事長（本学会より理事職として派遣）より、本学会からの派遣に関して推薦依頼があり、以下の通り派遣することが承認された。
- ・ 佐々木雅也副理事長・理事長代行（JCNT 理事、NST 稼働施設認定委員会委員長）
 - ・ 入山圭二名誉会員（JCNT 評議員から JCNT 監事へ就任）
 - ・ 鷺澤尚宏理事（JCNT 監事）
 - ・ 小谷穰治理事（JCNT 評議員）
- IX. 第 66 回日本透析医学会学術集会・総会 合同シンポジウム及び座長について
日本透析医学会より日本臨床栄養代謝学会・日本透析医学会合同シンポジウムの依頼があった。同学会からの推薦内容も考慮し、学術評議員の加藤明彦先生（浜松医科大学医学部附属病院 血液浄化療法部 教授）を座長として推薦することが承認された。
- X. 「第 5 回日本老年薬学会学術集会」「第 19 回国際動脈硬化学会議」JSPEN 後援名義使用について
第 5 回日本老年薬学会学術大会大会長である水上勝義先生（筑波大学院人間総合科学学術院・教授）と第 19 回国際動脈硬化学会議（ISA2021）運営事務局より、JSPEN 後援名義の使用許可願があり、それぞれ許可することが承認された。
- XI. 東京医療保健大学からの研究協力依頼について
東京医療保険大学大学院の井戸川由花様より「栄養サポートチームにおける作業療法的支援の実態調査」の研究協力依頼があった。研究概要を精査の上、NST 委員会も確認しながら可能な範囲で研究協力していくことが承認された。
- XII. 監事選出規定の改定に伴う持ち回り理事会の報告について
2020 年度第 3 回臨時理事会において監事の選任方法について定款施行細則第 19 条第 3 項～第 5 項を削除し、現行の選出方法に沿う形での改定条文が提示され、承認されたことが報告された。
- XIII. 2021 年 NST 専門療法士受験必須セミナー ビデオ演者について
2021 年の NST 専門療法士受験必須セミナーは、2021 年度も 2020 年度同様に集合型セミナーの実施開催の予定が立てづらい状況となっているため、オンラインでの開催が主体となる予定である。「過去に講師歴があり、向こう 2 年間は使用可能なものを保存していただく」ことをコンセプトに、講師・プログラム案が提示され、承認された。また、準備を進めるあたり、オンラインセミナーの場合には 60 分枠とするのではなく、30 分程度に分けて視聴者の負荷を抑えること、確認テストを設けて、習得度の担保とすることが、承認された。
- XIV. 会員管理システムの更新について
現在の会員管理システムは、当時、会員管理業務が委託主体であった際に、汎用性のみでは多様化する本学会の事業に対応できない点との判断から、自主管理に移行して丸 3 年が経過する。その後、マイページの制作や教育セミナーの自主受付システム、認定業務の WEB 申請システムの構築など自主管理に移行したことによりいくつかの事業は利便性が上がり、会員サービスへの向上に繋げることができた。一方で、多様な事業に対応に反して、システムメンテナンスにはじまり、IT 技術の変化対応によりセキュリティー対応に比重が増しており、一部のシステムについては、

自主管理では対応しきれない点も出てきた。以上の点から次世代の会員システムの運用も見据えて、本学会と同じ事業規模の学会が利用しているシステムの導入も視野に入れて、会員管理システムの更新に伴う導入に関する経費、年間維持費についての予算申請が提案され承認された。

XV. 審議事項

2020年度事業報告・決算、2021年度事業計画・予算について

事務局から2020年度事業報告、第35回学術集会会計報告を含む2020年度会計関連報告が提出され、承認された。引き続き、監事の先生方より監査報告がなされた。続けて、2021年度事業計画案の説明と福島財務委員長より、2021年度予算書(案)の説明がなされ、全会一致で承認された。

総務委員会(飯島理事)

- ・復会運用変更に伴う定款施行細則変更について

2020年度第3回定例理事会にて、復会再入会ルールの変更について承認がされたが、定款施行細則第1章第5条には、「退会後再入会した場合、退会前の入会期間は会員歴に算入される。」と記載があり、現在の運用と乖離しているため、整合のための規定変更案が提出され、一部文言の修正の上、後日持ち回りで再審議することとした。(本件は第3回持ち回り理事会にて審議され、2021年2月9日一部改定、直ちに施行とした。)

認定・資格制度委員会、総務委員会(福島理事、飯島理事)

- ・認定医・指導医・認定歯科医の休会に伴う更新申請年の移行について

休会申請は定款第10条にて認められているが、現状の認定医・指導医制度、認定歯科医制度では、休会制度に紐づいたNST専門療法士制度で規定している更新延長制度がない。同一学会の認定制度において、会員権に付随する認定有資格の維持手続きが整合されていないことは学術団体の認定制度として相応しくないため、休会に伴う更新要件に関して改定案が提出され、理事会にて承認され、第8回定時社員総会へ提出することになった。

規約委員会、支部統括委員会(石井理事、犬飼理事)

- ・支部世話人組織における副支部長、書記の設置に伴う支部規則の改定について

2020年11月22日の支部長・支部統括委員会において、支部世話人組織に希望する場合には、副支部長と書記を設置できる規定に改正することが承認された。2021年度第1回臨時理事会においても、副支部長と書記を必要に応じて設置できる支部規則への改定が承認されたため、規約委員会で策定した改正規則案が提出され、承認された。また、規則内において文言の統一されていない部分があるため、今後、運用を進めていながら規約委員会と確認し文言の整合と整えていくことになった。

XVI. 報告事項

編集委員会(佐々木副理事長・理事長代行)

- ・優秀査読者賞受賞者選定について

優秀査読者賞受賞者選定に際し編集委員会にて、厳選な審査の結果、以下の通り受賞者を決定した。総会・学術評議員会時に氏名を発表し、後ほど事務局より記念品をお送りすることとする。

井田 智 (がん研有明病院 消化器外科)
巨島 文子 (諏訪赤十字病院 リハビリテーション部)
寺島 秀夫 (CUC Inc.) (敬称略)

XVII. その他

- ・ 日本医学会：学会名称に関する協議について

日本医学会から2020年12月9日付けで、日本病態栄養学会、日本臨床栄養学会、日本臨床栄養代謝学会の各理事長宛に書面が届いた。日本医学会加盟検討委員会が開催され、同委員会より3点の提案の提示がなされた旨の内容であった。①3学会が今後、合併して活動できる方向性を目指す、②両学会が納得できる名称になるよう本学会が考え直す、③これらの方法を取れない場合には、本学会が変更された名称にふさわしいか、日本医学会への加盟について再審査の手続を検討することとなる、という3点の提案内容について、理事会にて精査を重ね、法的な観点からも専門家の意見も確認した。その結果、日本臨床栄養学会とは現在、友好な関係を築くための協調活動を進めているなど、日本医学会からの提案が前提とする状況はもはや存在しないと思われることから、改めて、本学会の主張を正式文書としてまとめたものが本理事会で提示され、本文書にて日本医学会に対して回答することが全会一致で承認された。

- ・ 東口高志理事長の調査について

前回理事会にて報告された調査項目を基本とした現時点の調査状況について報告がなされた。

■2021年第1回定例理事会の予定

名 称：2021年度第1回定例理事会
日 程：2021年2月17日(水) 18:00～20:00
開催形式：WEB会議 (ZOOM使用)
上記にて開催されることが報告された。

以上

2021年1月25日(月)